

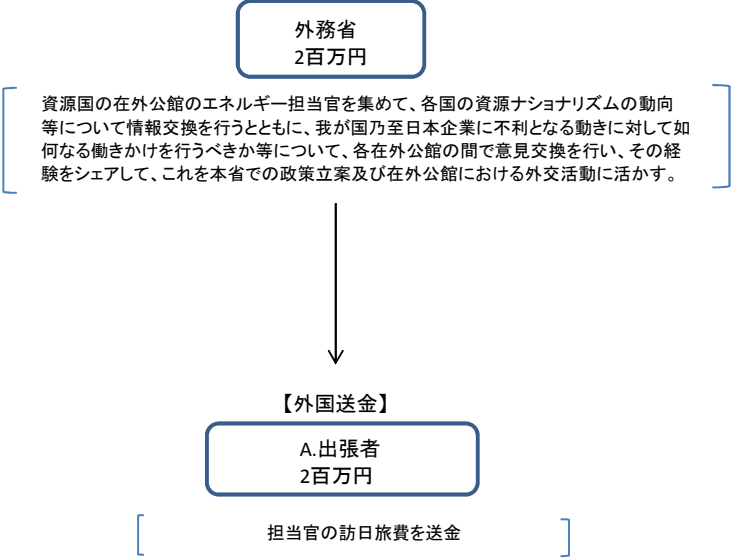
平成24年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	資源問題担当官会議	担当部局庁	経済局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度	担当課室	経済安全保障課	課長 大隅 洋				
会計区分	一般会計	施策名	Ⅱ－2 国際経済に関する取組					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項 外務省組織令第六十八条第一項	関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	資源産出国の資源ナショナリズムが台頭する中、在外の資源担当官の役割を明確化することによって我が国と資源国の一層の関係強化や各担当官の任国における資源関連情報収集の強化に努めるとともに、我が国が将来にわたって必要な鉱物資源を安定的に確保するための外交的取組の強化に向けた体制の具体化を目指す。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	近年、低炭素社会に向けた産業構造の変化や新興国における鉱物資源の需要が増加し、また、生産国の資源ナショナリズムが台頭し、生産国による自国資源の国家管理の強化が顕著となってきている。このような中、日本の産業を支える鉱物資源の安定供給の確保の重要性は益々増してきており、そのため、資源国の資源政策状況の検証と分析を行い、その成果を在外公館における外交活動に活かす。特に、昨今の中東情勢の受けて、化石燃料の供給源の多角化が益々必要となっていることを踏まえ、今年度の資源問題担当官会議は化石燃料資源の安定供給のための外交的取組のあり方も対象とした。							
実施方法								
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	5	4	3	3	3	
		補正予算	—	—	—			
		繰越し等	—	—	—	—		
	計		5	4	3	3	3	
	執行額		3.169	3	2			
執行率(%)		64.3%	90.4%	76.8%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	主な資源産出国をターゲットとして、国別のカン トリー・プロジェクトシートを作成し、各国のニーズに対 して我が国のとるべく措置を検証・分析を行うところ、 成果実績と達成度は調査対象国数と国別プロジェク トシート数の比率。		成果実績	国数	14	19	16	10
			達成度	%	100	100	100	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	会議開催数		活動実績 (当初見込み)	開催回 数/年	1	1	1 (1)	— (1)
単位当たり コスト	2,230(千円/1回)		算出根拠	年1回開催の実績額について算出。				
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	旅費	3	3					
	計	3	3					

事業所管部局による点検				
	評価	項目		評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		エネルギー・鉱物資源の安定供給確保は我が国の外交目標の一つであり、優先度が高い。また、資源生産国の状況によっては官民一体の取組が必要。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、使途・費目・	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		本会議に出席した担当官は、公使レベルを含めて全て格安エコノミークラス航空券を使用するなど、コスト削減に努めた。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		経産省、財務省、政府関係機関、関係企業などの出席も得て、我が国のエネルギー・鉱物資源の安定供給に関する有意義な議論を実施することができた。その成果は、在外公館を中心とする資源安定供給に向けた今後の外交的取組に大きく資することが期待される。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名		
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	主要資源産出国16ヶ国の日本大使館の資源問題担当官を外務本省に集め、関係省・機関からの有益な意見も踏まえながら、エネルギー・鉱物資源の安定供給に向けたオールジャパンの取組における在外公館の役割について有益な議論を効率的かつ効果的に行うことができた。			
	予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		－		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)				
現状通り		－		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー		539	平成23年行政事業レビュー	
			520	

個別事業名： 資源問題担当官会議

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位：百万円)

個別事業名： 資源問題担当官会議

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載）	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	旅費	航空賃等	2			
	計		2	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

個別事業名： 資源問題担当官会議

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	資源問題担当官会議に出席するための旅費	0.3		
2	出張者B	資源問題担当官会議に出席するための旅費	0.3		
3	出張者C	資源問題担当官会議に出席するための旅費	0.2		
4	出張者D	資源問題担当官会議に出席するための旅費	0.2		
5	出張者E	資源問題担当官会議に出席するための旅費	0.2		
6	出張者F	資源問題担当官会議に出席するための旅費	0.2		
7	出張者G	資源問題担当官会議に出席するための旅費	0.2		
8	出張者H	資源問題担当官会議に出席するための旅費	0.2		
9	出張者I	資源問題担当官会議に出席するための旅費	0.2		
10	出張者J	資源問題担当官会議に出席するための旅費	0.1		

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					